

目指す子ども像

ゆめ(もくひょう)をもち ねばりづよくたくましく まなびあいたかめあう子どもたち

【サブテーマ】

自ら^{みづか}学び 他者^{たしや}と協力する^{きょうりよく} 子どもたちの育成^こ

～主体的・協働的^{しゅたい てき きょうどう てき}な学びや活動^{まな かつどう とお}を通して～

しゅくだいを
しよう



1ねんせいは20ぷん
2ねんせいは30ぷん

たのしんで
ほんをよもう



どくしょを
すきになろう

げんきよく
あいさつやへんじを
しよう



あいてにつたわる
あいさつをしよう

きまりを
まもろう



じゅぎょうのきまり、せいかつの
きまりをしっかりまもろう

すすんで
かつどうしよう



クラスをもっと
よくしよう

「はてな?」を
みつけよう



べんきょうのとき
じぶんのかんがえをもとう

じぶんのかんがえを
はっきりつたえよう



きくときは さいごまで
はなすひとを みよう

さいごまで
がんばろう



べんきょうやとうばん
かかりのしごとをがんばろう

「ありがとう」
「ごめんね」を
いおう



おもいやりの
きもちをもとう

目指す子ども像

夢(目標)を持ち 粘り強くたくましく 学び合い高め合う子どもたち

【サブテーマ】

自ら^{みづか}学び^{まな} 他者^{たしや}と協力する^{きょうりよく} 子どもたちの育成^こ
～主体的・協働的^{しゅたい てき きょうどう てき}な学びや活動を通して～



自主学習を
続けよう



3年生は40分
4年生は50分

いろいろな
本を読もう



きょうみを持って読書に
取り組もう

自分から進んで
あいさつをしよう



相手に伝わる
あいさつをしよう

進んで
きまりを守ろう



ルールやマナーの
大切さを りかいしよう

進んで
活動しよう



学級・学年をもっと
よくするために活動しよう

学んだことを
いかして
考えよう



勉強したこと、けいけんした
ことを、思い出して考えよう

理由やこんきよを
明らかにして
話そう



聴くときは、自分の考えと
くらべられるようになろう

あきらめず
最後まで
やりぬこう



新しいことにも
チャレンジしよう

「ありがとう」
「ごめんね」と
すなおに言おう



相手の気持を考えて、
言葉で伝えよう



目指す子ども像

夢(目標)を持ち 粘り強くたくましく 学び合い高め合う子どもたち

【サブテーマ】

自ら^{みづか}学び^{まな} 他者^{たしや}と協力する^{きょうりよく} 子どもたちの育成^こ

～主体的・協働的な学びや活動を通して～



自主学習を
続けよう



5年生は60分
6年生は70分

目的に応じて
本を選ぼう



はば広い分野の本を
読もう

ていねいで
れいき正しい
あいさつをしよう



相手に伝わる
あいさつをしよう

きまりを守り
下級生のお手本
になろう



ルールやマナーの
大切さを理解し、行動しよう

協力して
活動しよう



学級・学年・学校全体をもっと
よくするために活動しよう

今までの経験を
いかして
考えよう



生活の場面と結びつけて
学習課題を考えよう

聞き手の反応を
確かめながら
話そう



聴くときは、内容の中心を
おさえられるようにしよう

夢(目標)をもち
最後まで
やりぬこう



目標達成に向けた努力を
おしまないようにしよう

「ありがとう」
「ごめんね」と
素直に言おう



相手の気持ちを考えて
言葉で伝えよう

目指す子ども像

夢(目標)を持ち 粘り強くたくましく 学び合い高め合う子どもたち

【サブテーマ】

自ら学び 他者と協力する 子どもたちの育成

～主体的・協働的な学びや活動を通して～

自ら課題を
見つけて
学習しよう



1年生は90分以上、
2・3年生は120分以上

目的に応じて
本を選ぼう



幅広い分野の
本を読もう

場に応じた
あいさつをしよう



自分から、目を見て
相手に伝えるようにしよう

自己指導能力を
身につけよう



気づき、考え
自分で修正しよう

自分たちの力で
よりよい学校生活を
送ろう



自律した
生活を送ろう

自ら学ぼう



自ら課題を見つけ
自ら解決していこう

他者の意見を尊重し
円滑に意思
疎通をしよう



相手のことを考えて
聞いたり話したりしよう

進路実現に向けて
最後までやり抜こう



将来に向けた努力を
おしまないようにしよう

すべての生徒に
安心と安全を



素直な気持ちで
「ありがとう」「ごめんなさい」